

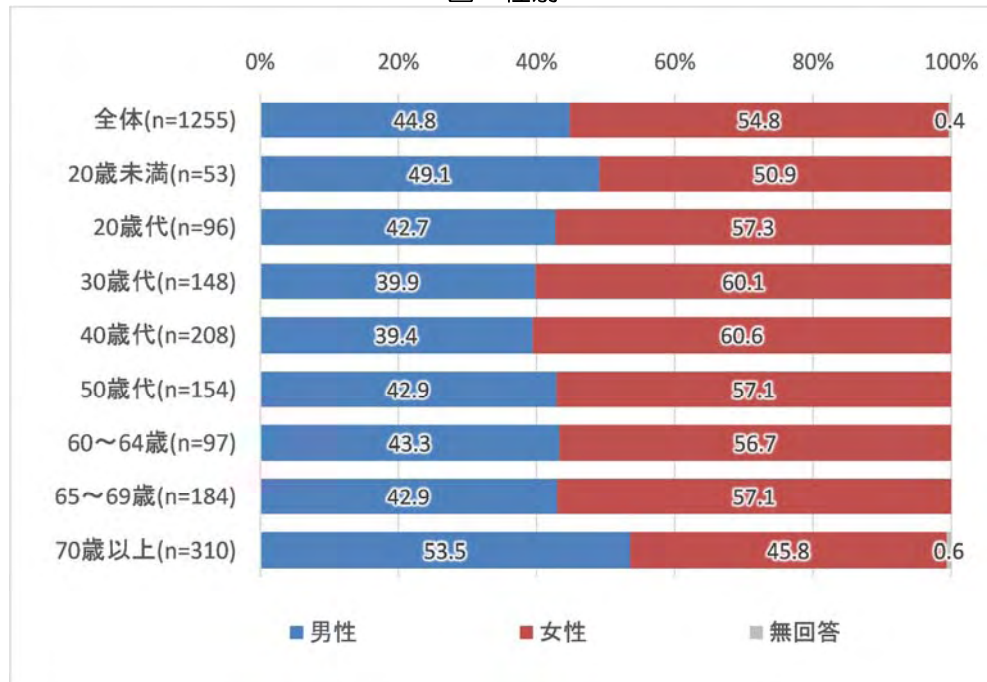
2. 各種アンケート等のクロス集計結果

1) 市民アンケート調査クロス集計結果（年齢別集計）

問 1 ①性別

■年齢別に見た場合、70歳以上は男性の方が多くなっていますが、その他の年齢では、女性の方が多くなっています

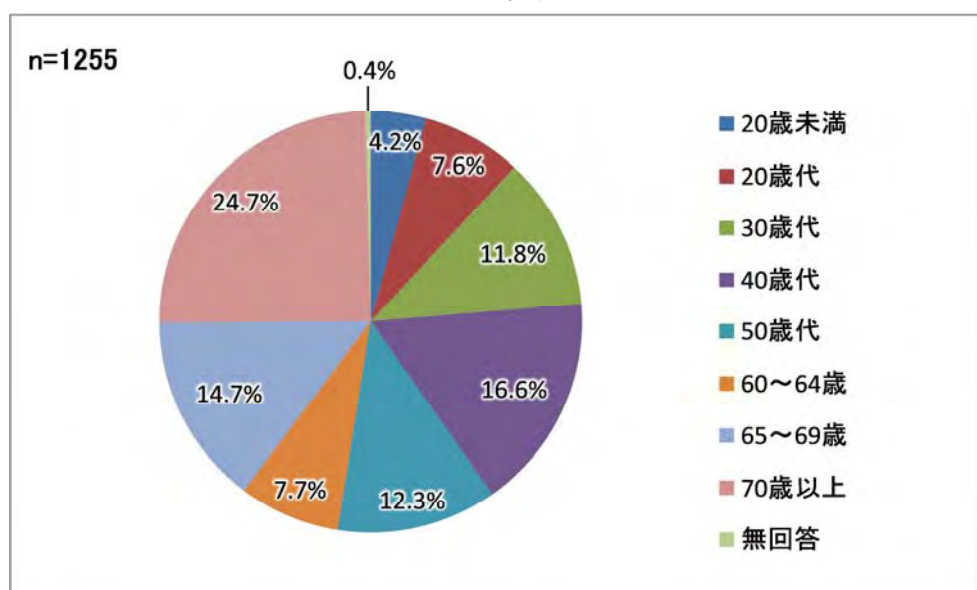
図 性別



②年齢

■年齢別に見た場合、70歳以上が最も多くなっています。

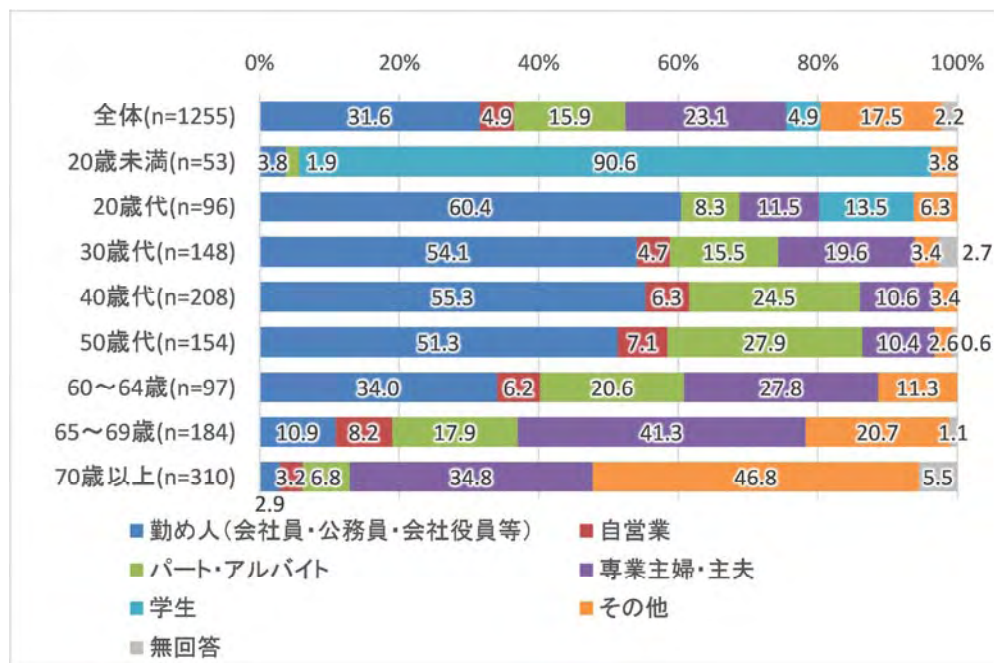
図 年齢



③職業

■年齢別に見た場合、20歳未満の約91%は「学生」、70歳以上の約47%は「その他」となっています。

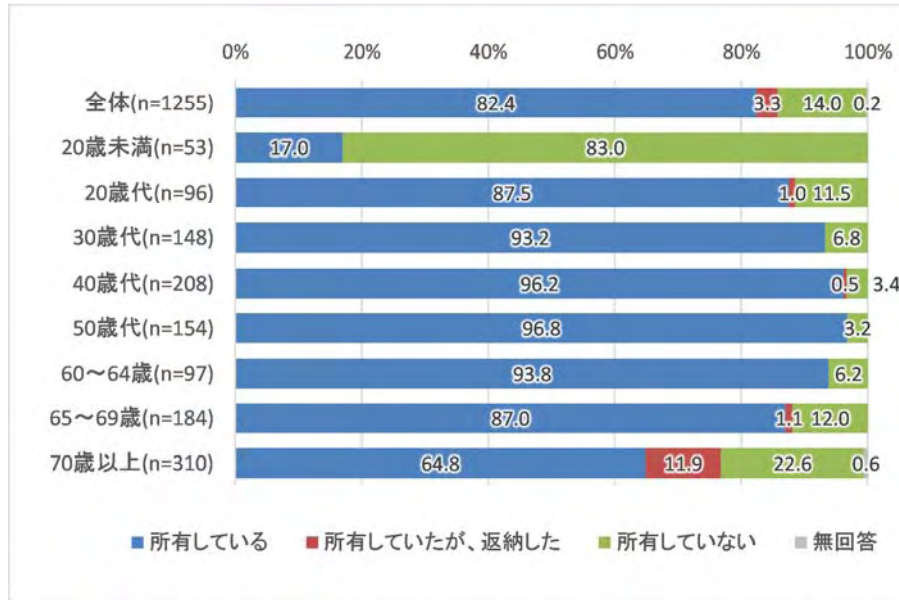
図 職業



問 2 自動車運転免許証の有無について

- 年齢別に見た場合、65～69 歳は約 1%、70 歳以上は約 12%の方が既に自動車運転免許証を返納している。
- 20 歳未満は、約 83%が自動車運転免許証を所有していない。

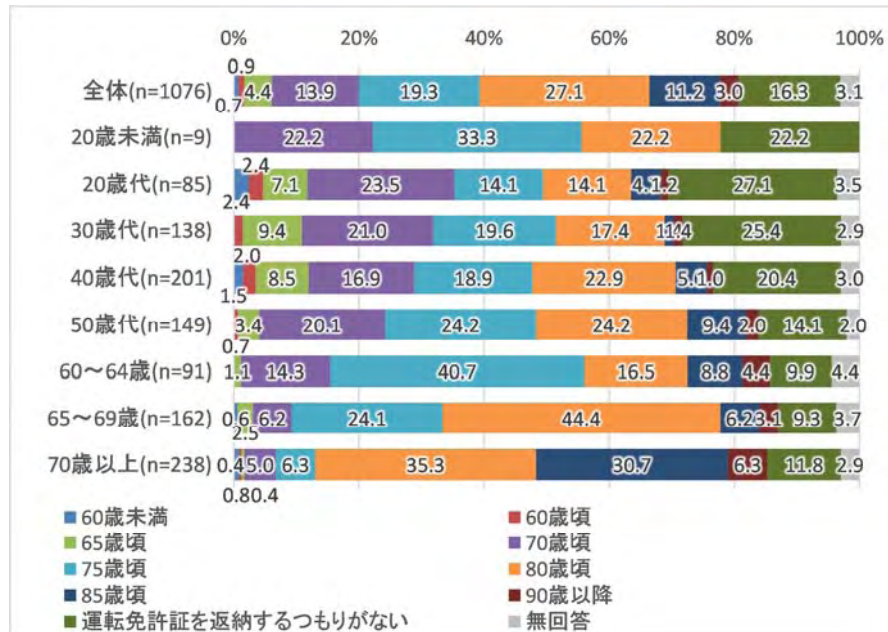
図 自動車運転免許証の有無について



問 3 免許証を返納したい（返納した）年齢（※問 2 で「所有している」「所有していたが、返納した」を選んだ方のみ）

- 年齢別に見た場合、70 歳以上では、80 歳以上（80 歳頃+85 歳頃+90 歳頃）が約 72%を占めている。

図 免許証を返納したい（返納した）年齢

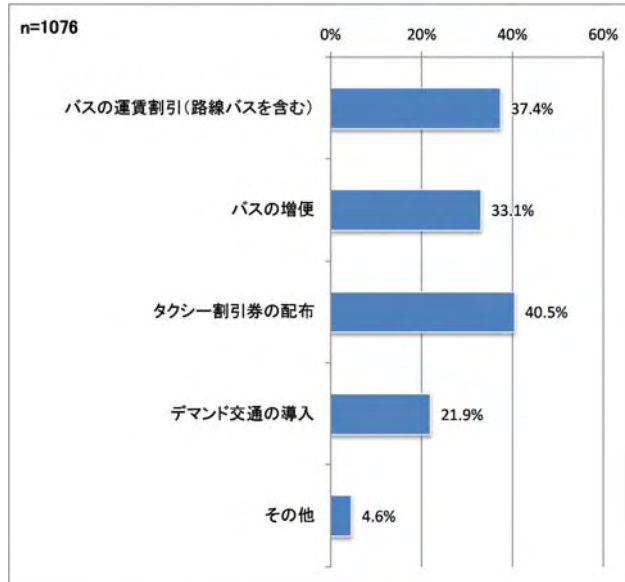


問 4 免許証を返納した際に、あったらいいなと思う交通施策について（※問 2 で「所有している」「所有していたが、返納した」を選んだ方のみ 2 つまで回答）

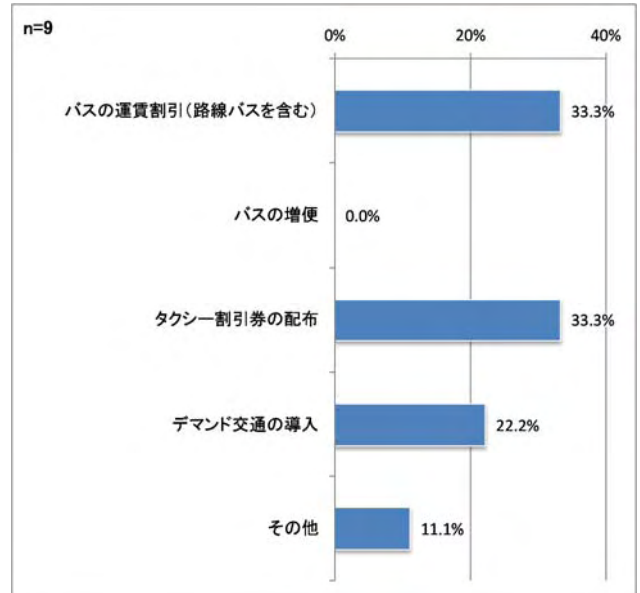
■年齢別に見た場合、65 歳以上では、「タクシー割引券の配布」「バスの増便」「バスの運賃割引」の順に多くなっています。

図 あったらいいなと思う交通施策について

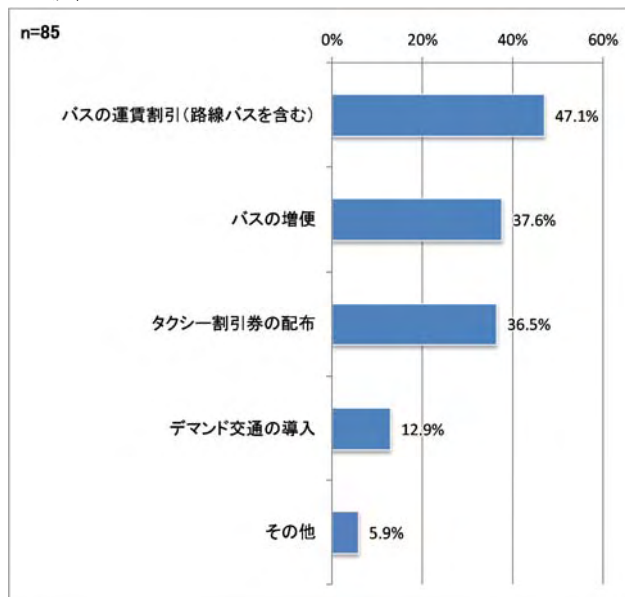
全体



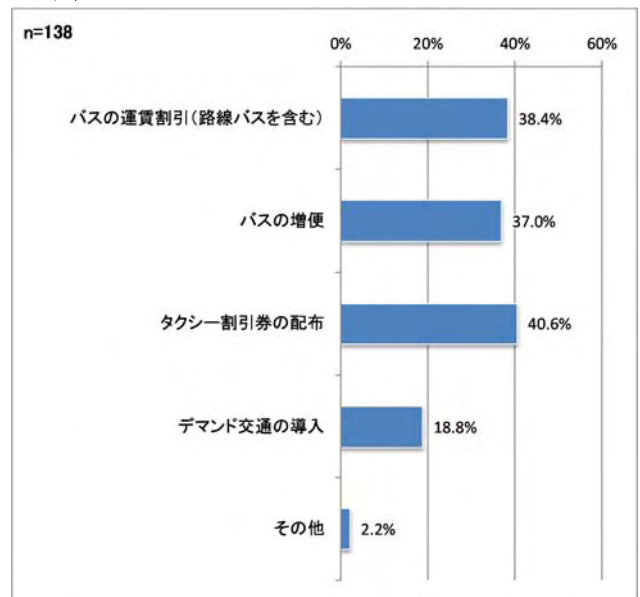
20 歳未満



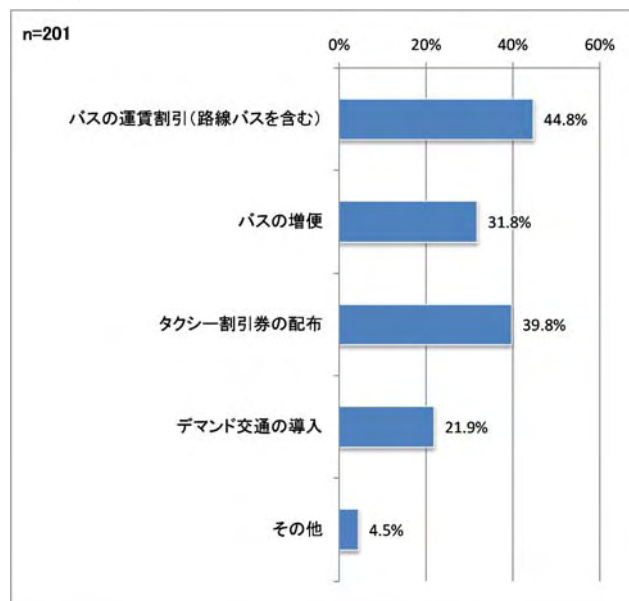
20 歳代



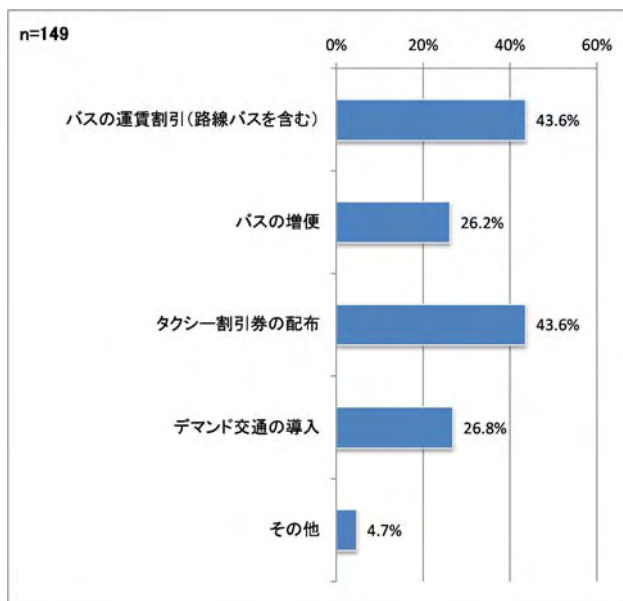
30 歳代



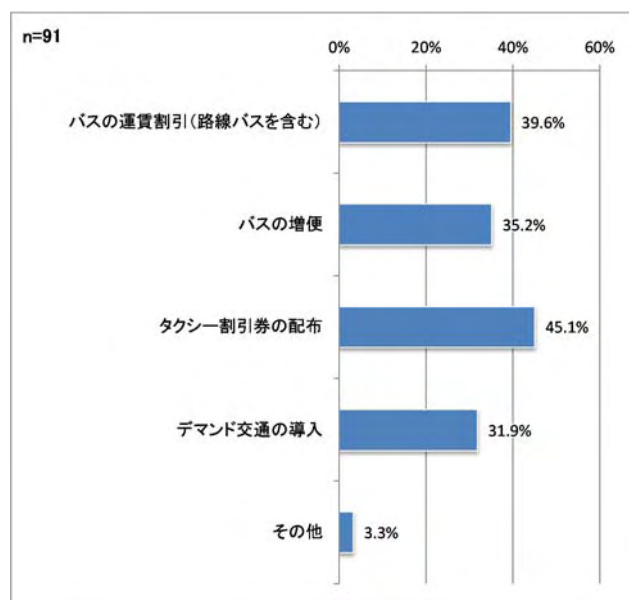
40 歳代



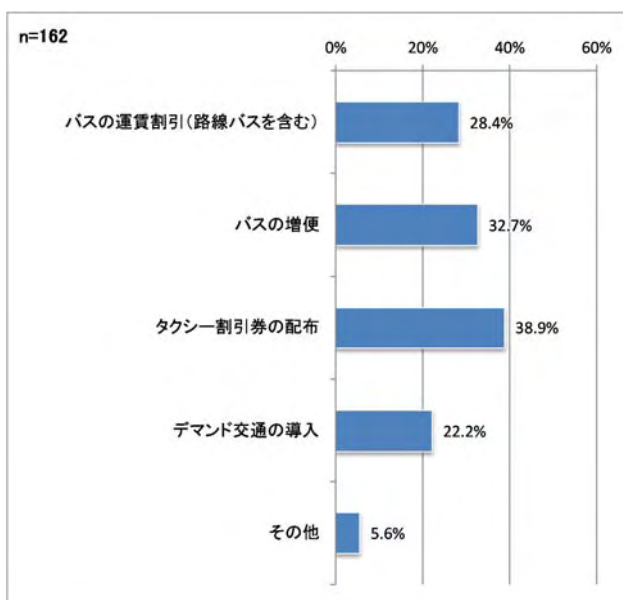
50 歳代



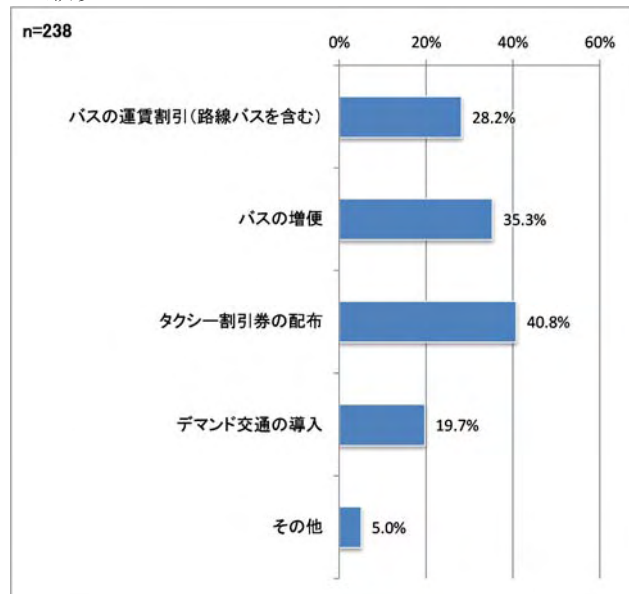
60～64 歳



65～69 歳



70 歳以上

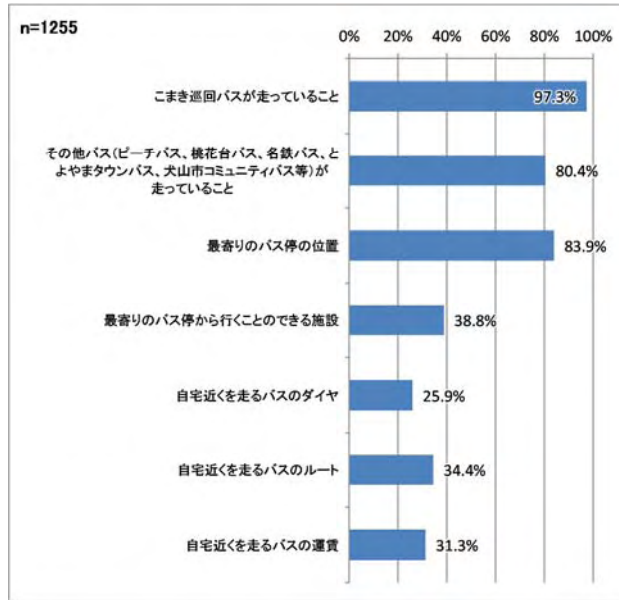


問5 小牧市内を運行している公共交通に関して知っていること（※複数回答）

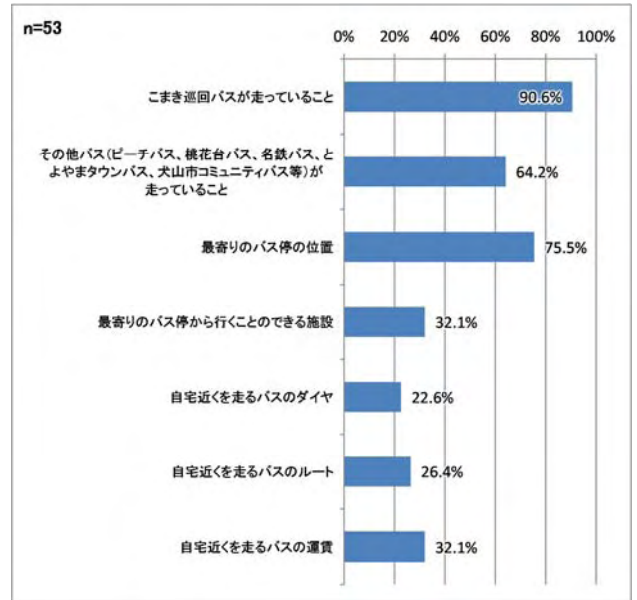
■どの世代においても「こまき巡回バスが走っていること」「その他バスが走っていること」「最寄りのバス停の位置」に対する認知度が、他の認知度に比べて高くなっています。

図 小牧市内を運行している公共交通に関して知っていること

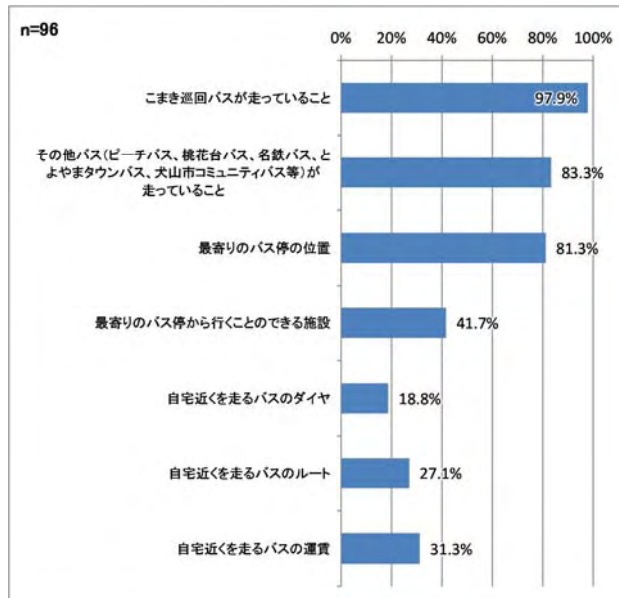
全体



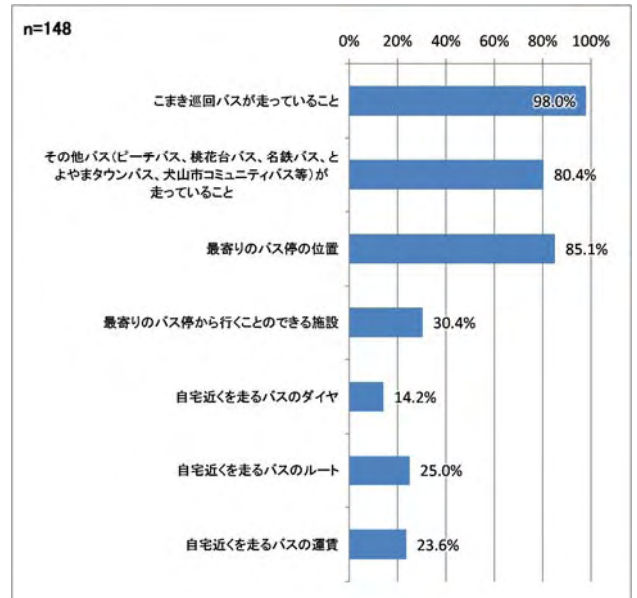
20 歳未満



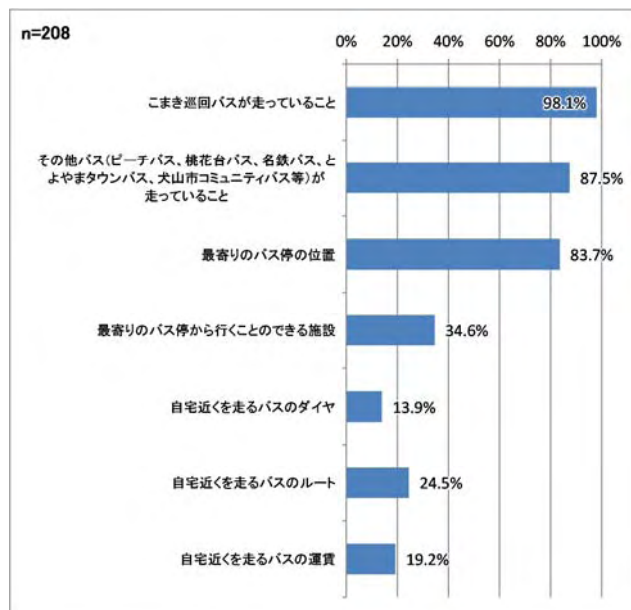
20 歳代



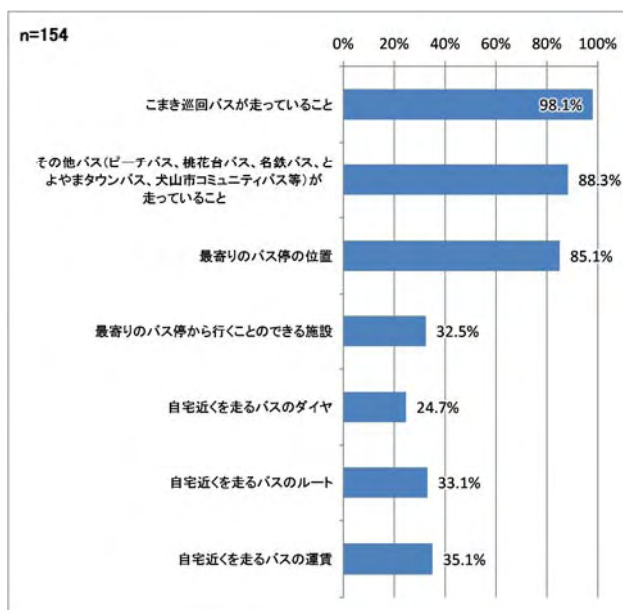
30 歳代



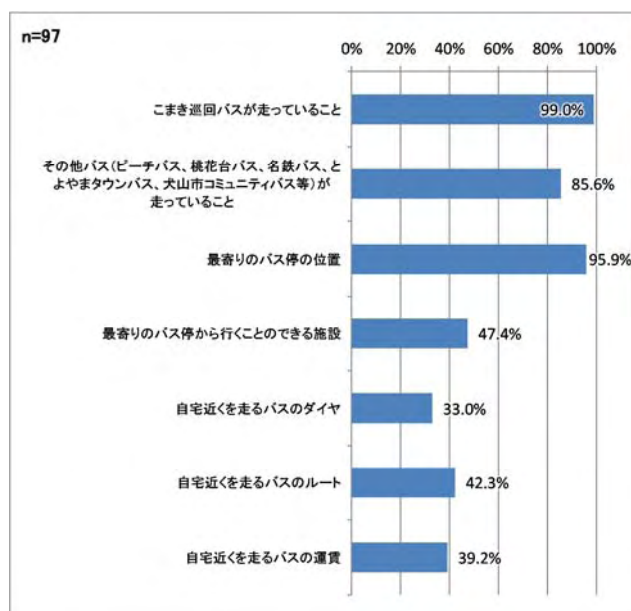
40 歳代



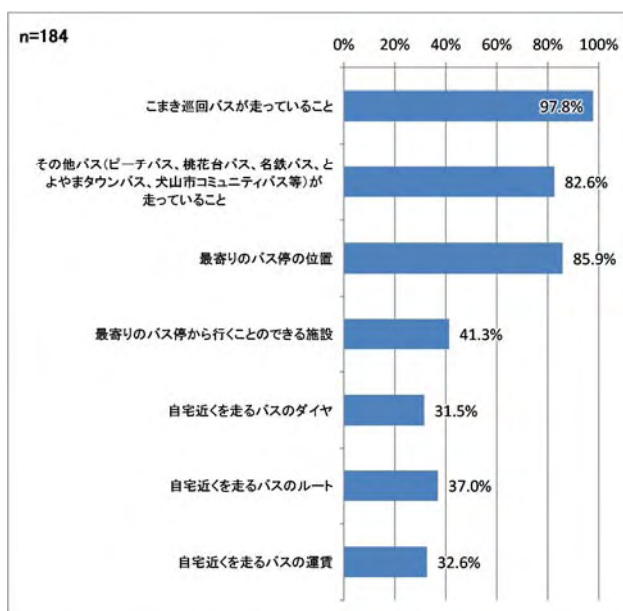
50 歳代



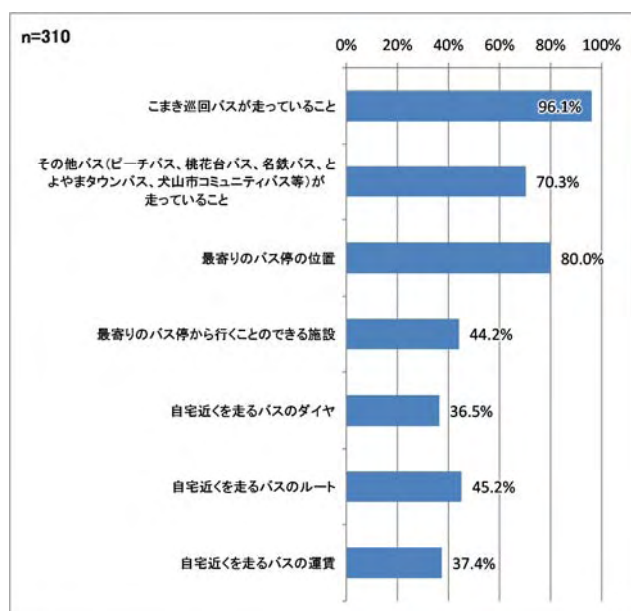
60～64 歳



65～69 歳



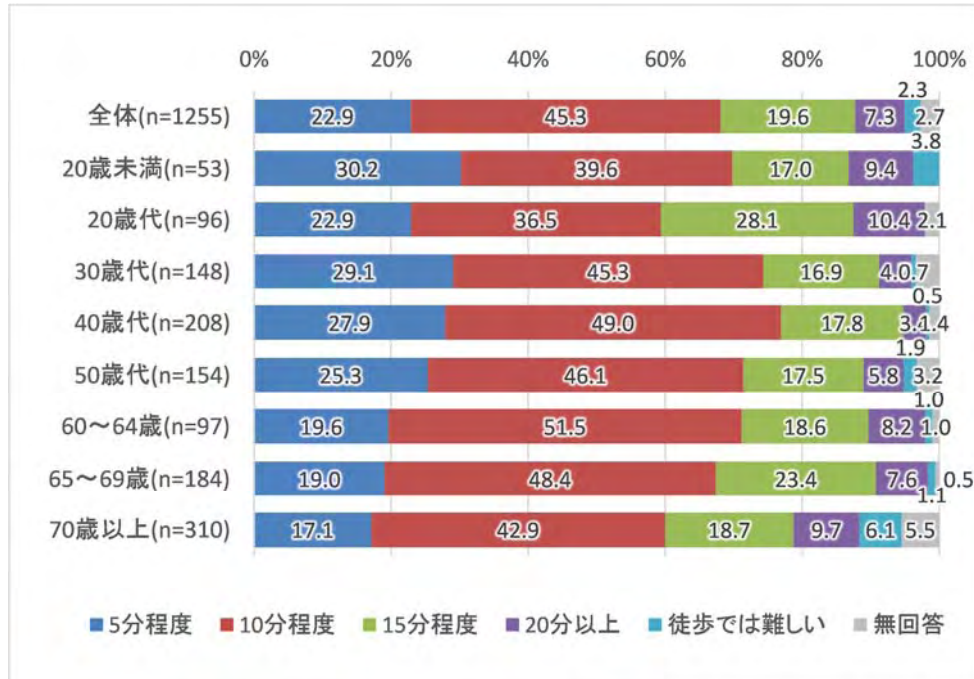
70 歳以上



問6 鉄道やバス利用のための徒歩による移動可能時間について

■年齢別に見た場合、70歳以上では「10分程度」まで（「15分程度」と「20分以上」を含む）が約71%、「15分程度」まで（「20分以上」を含む）が約28%を占めています。

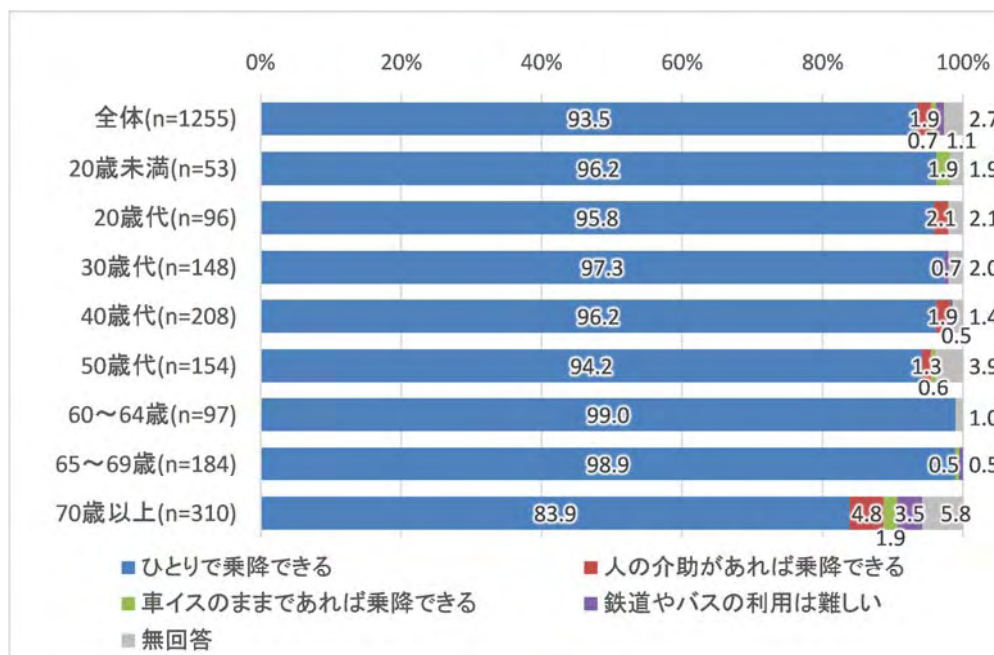
図 徒歩での移動可能時間について



問7 鉄道やバスの乗り降りについて

■70歳以上では「人の介助があれば乗降できる」「車イスのままであれば乗降できる」を合わせると約7%、「鉄道やバスの利用は難しい」とされる方も約4%存在しています。

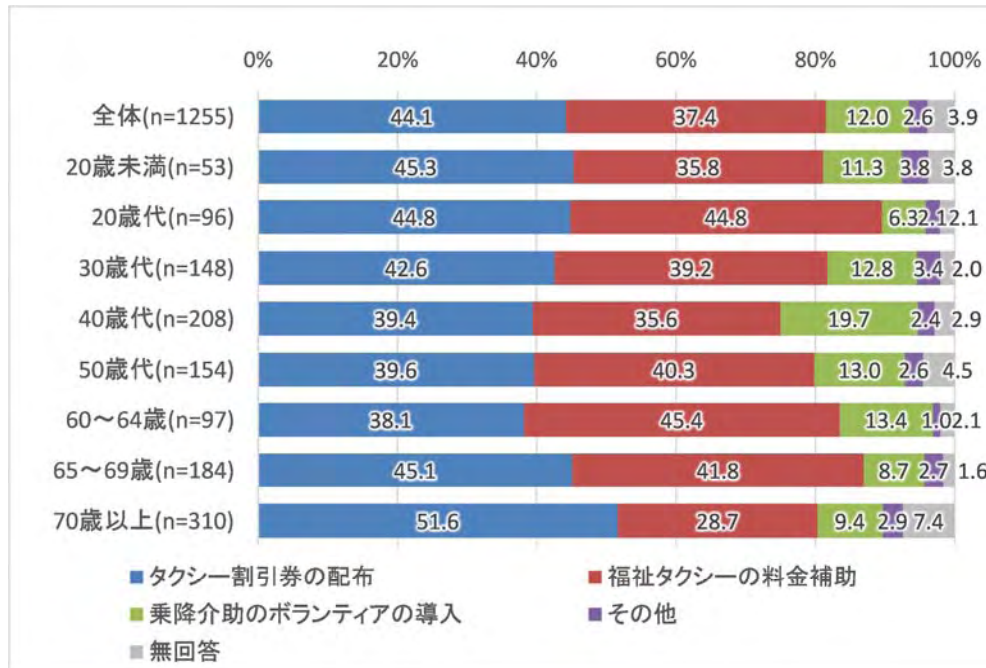
図 乗り降りについて



問 8 自力での移動が困難になったときに実施してほしい施策について

■年齢別に見た場合、70歳以上では「タクシー割引券の配布」が約52%と最も多く、次いで「福祉タクシーの料金補助」が約29%となっています。

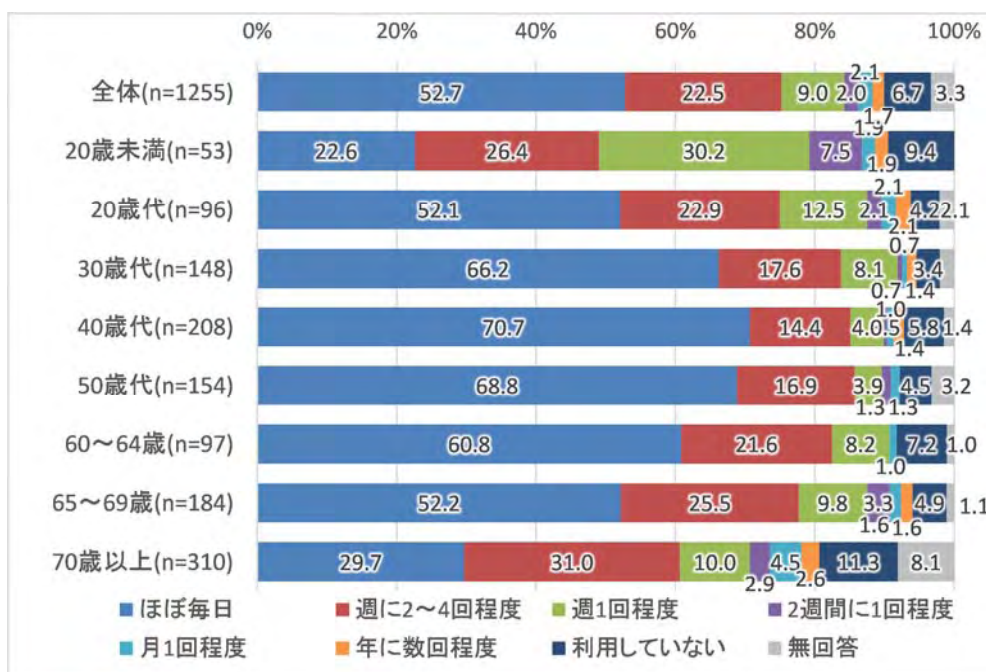
図 自力での移動が困難になったときに実施してほしい施策について



問 9 自家用車（送迎してもら場合も含む）の利用頻度について

■年齢別に見た場合、20～69歳では「ほぼ毎日」が約52～71%を占める一方、20歳未満と70歳以上では「ほぼ毎日」が約23～30%となっています。

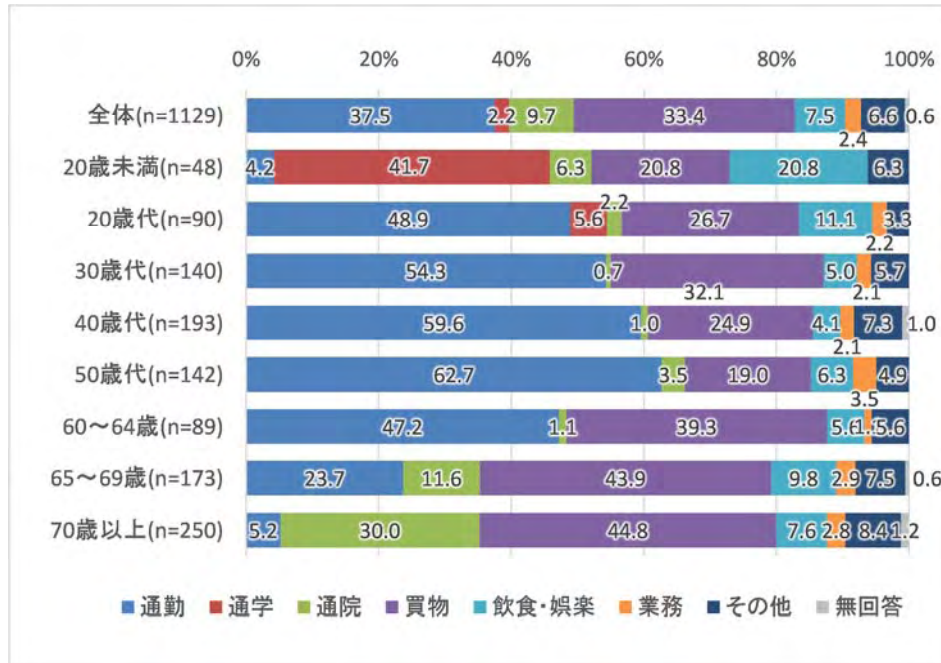
図 自家用車の利用頻度について



問 10 自家用車の主な利用目的（※問 9 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

- 年齢別に見た場合、65 歳以上では「買物」が約 44～45%と最も多くなっています。
- 20 歳未満では、「通学」が約 42%を占めています。

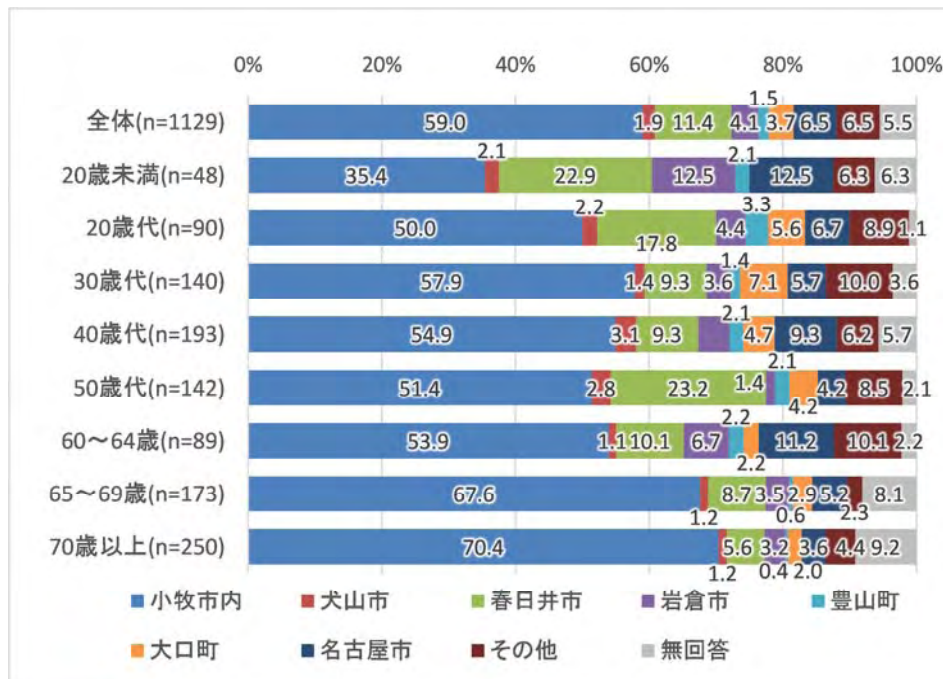
図 自家用車の主な利用目的



問 11 自家用車の主な目的地（※問 9 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

- 年齢別に見た場合、65 歳以上では「市内」が約 68～70%と最も多くなっています。

図 自家用車の主な目的地

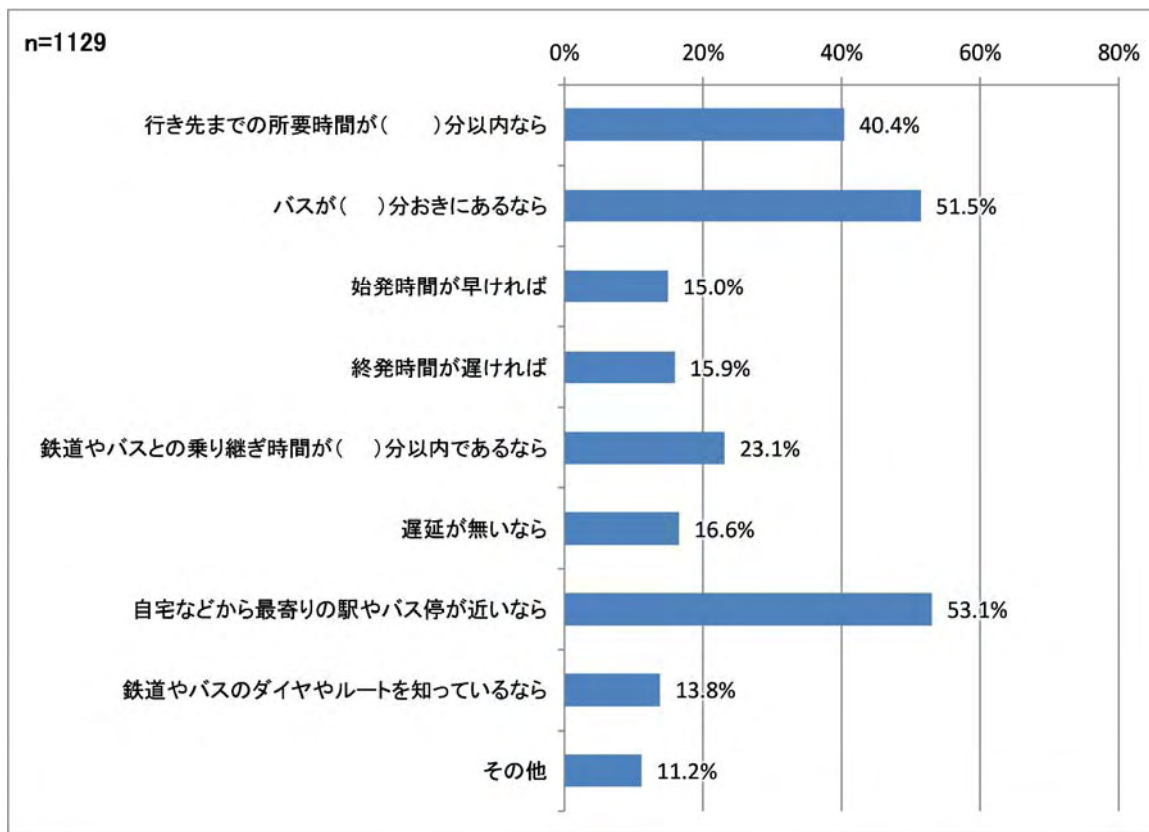


問 12 公共交通が利用可能となる条件(※問 9 で「利用していない」以外を選んだ方のみ 複数回答)

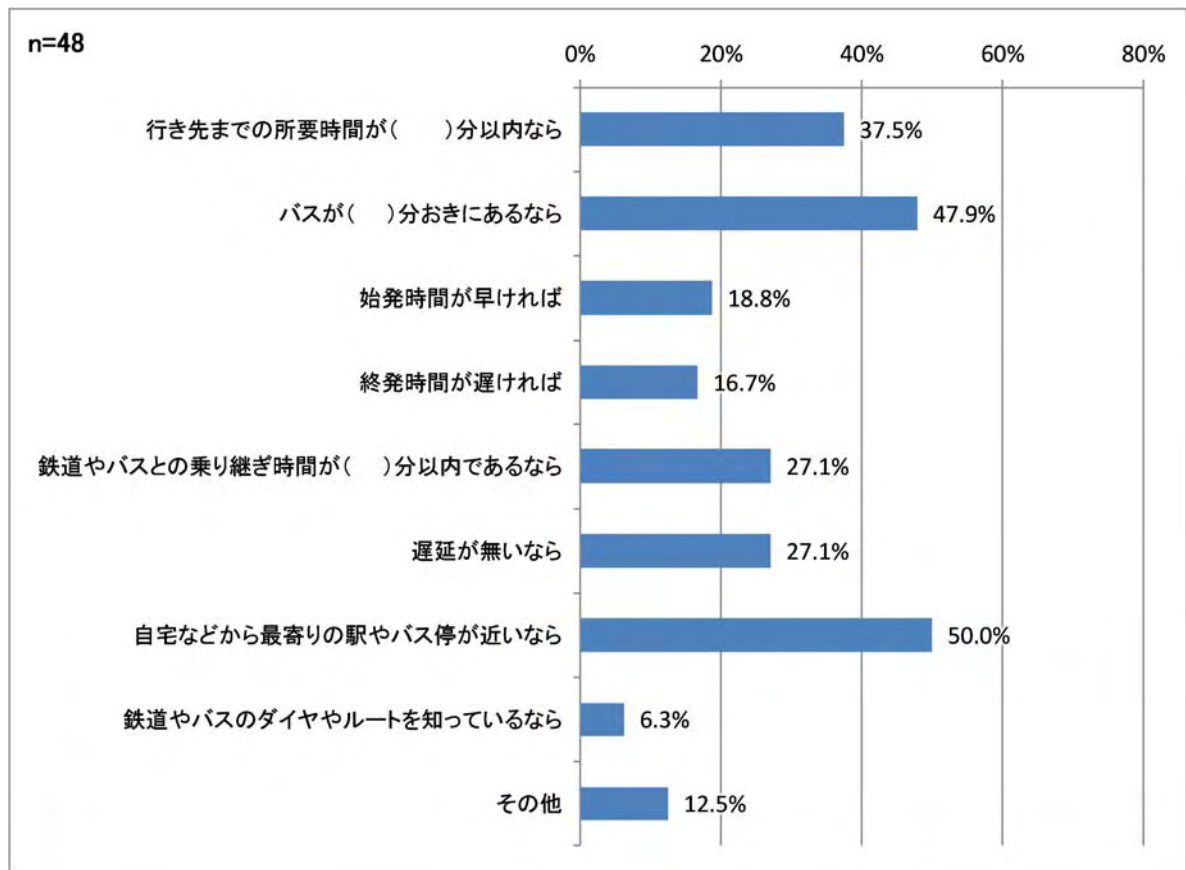
■年齢別に見た場合、どの世代においても「自宅などから最寄りの駅やバス停が近いなら」「バスが()分おきにあるなら」「行き先までの所要時間が()分以内なら」が多くなっています。

図 公共交通が利用可能となる条件

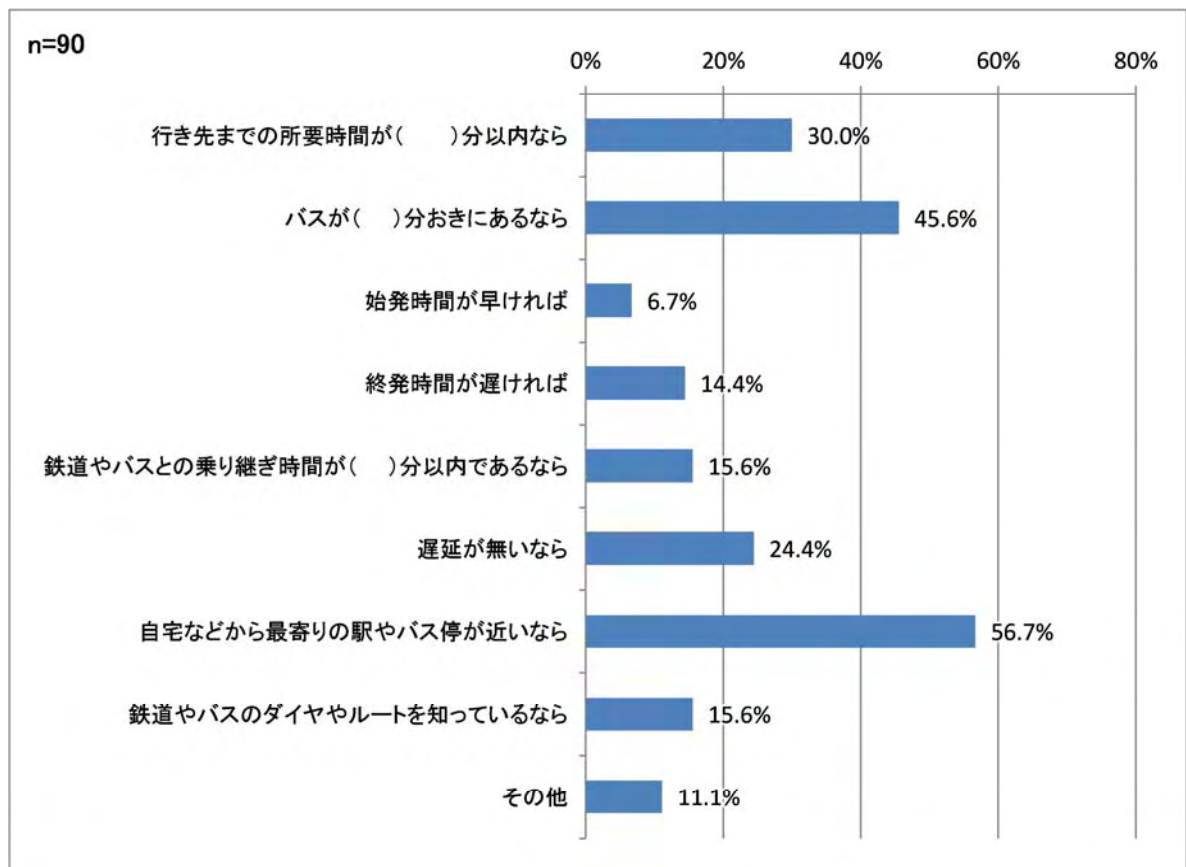
全体



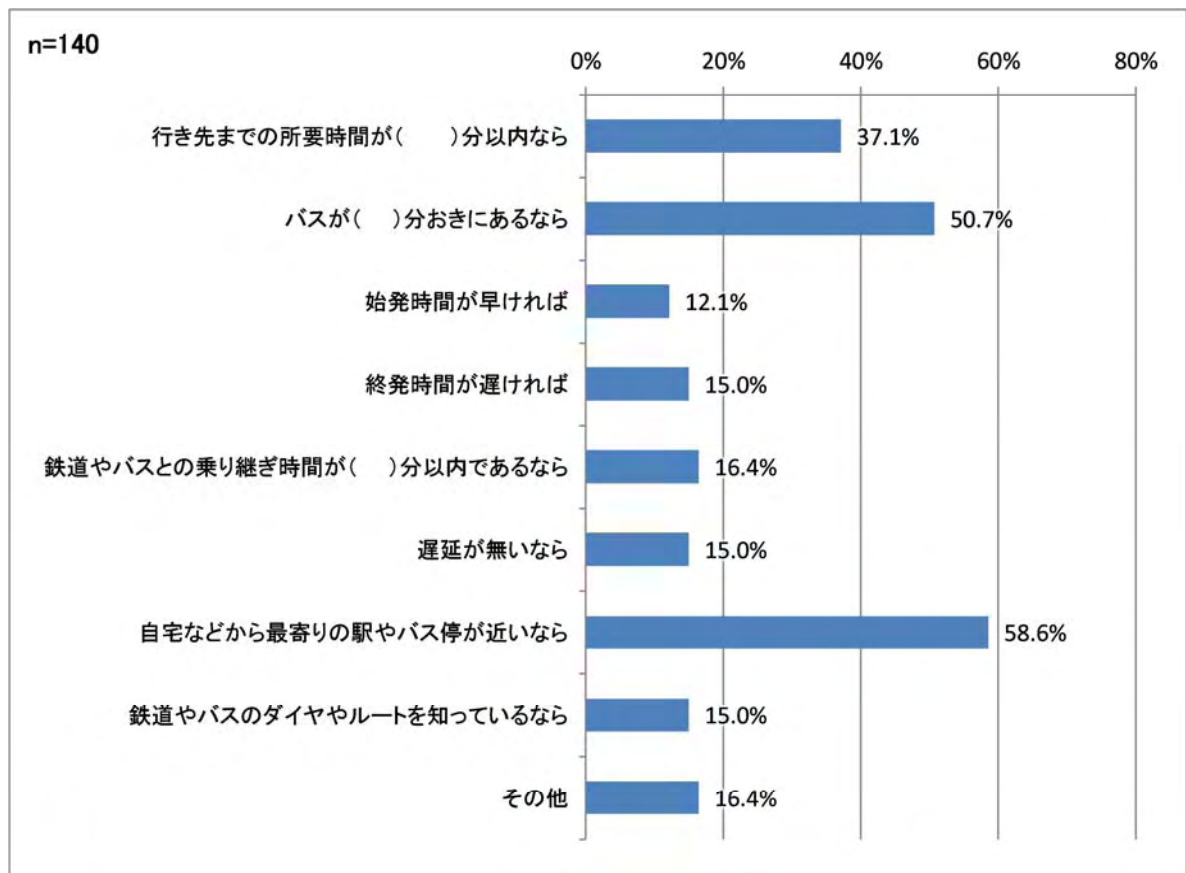
20 歳未満



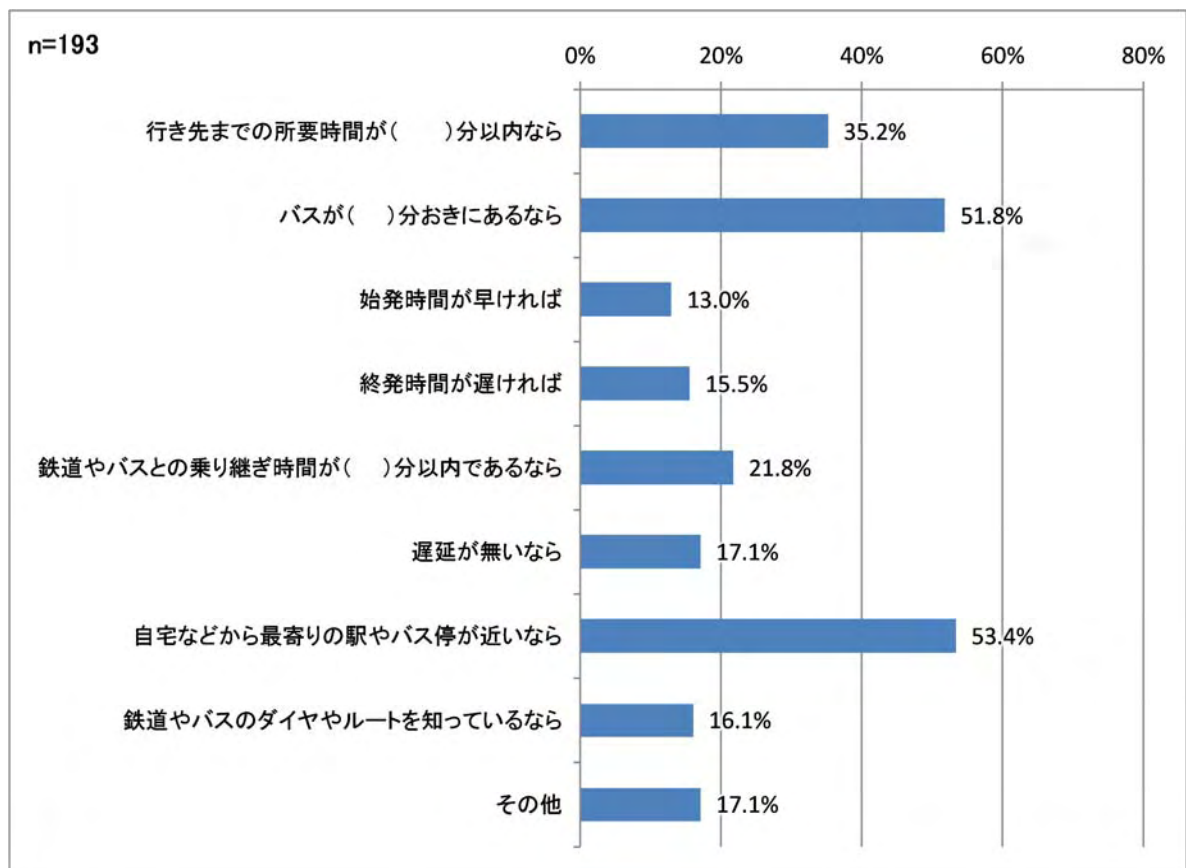
20 歳代



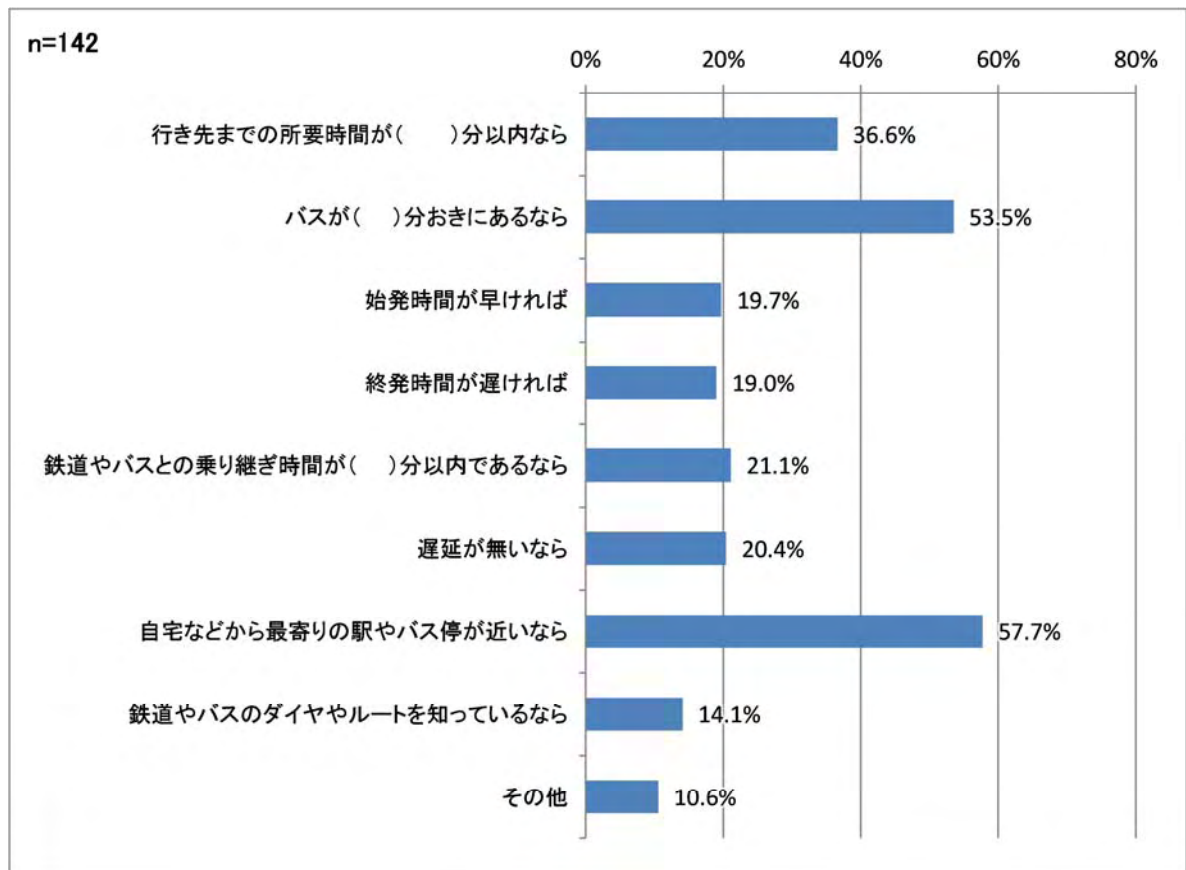
30 歳代



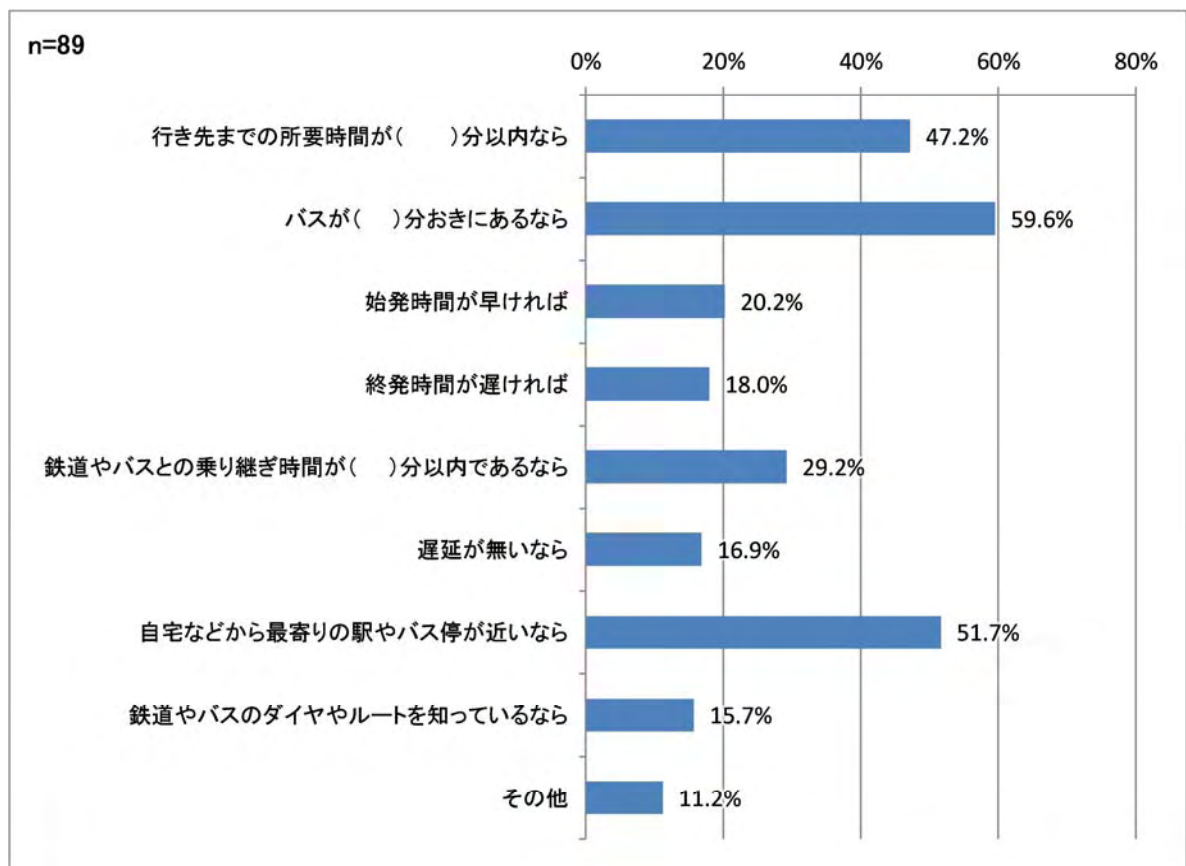
40 歳代



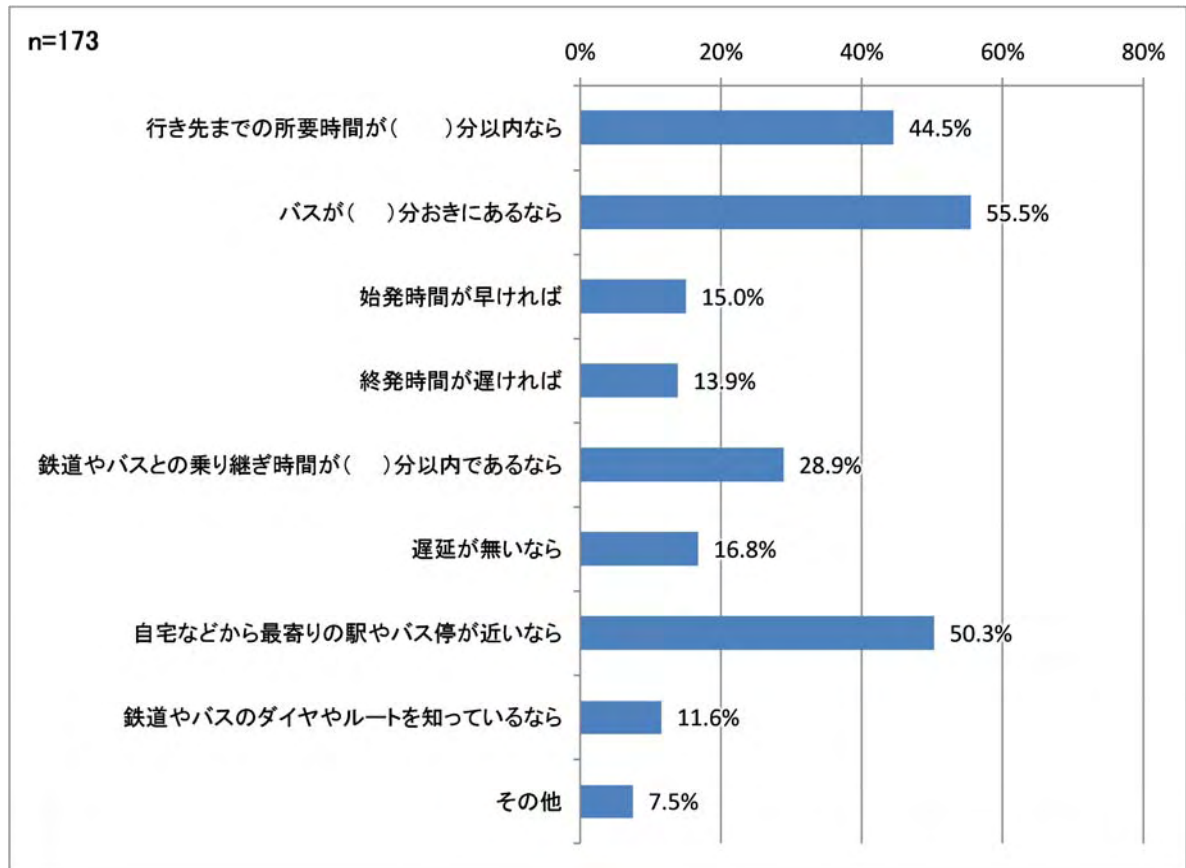
50 歳代



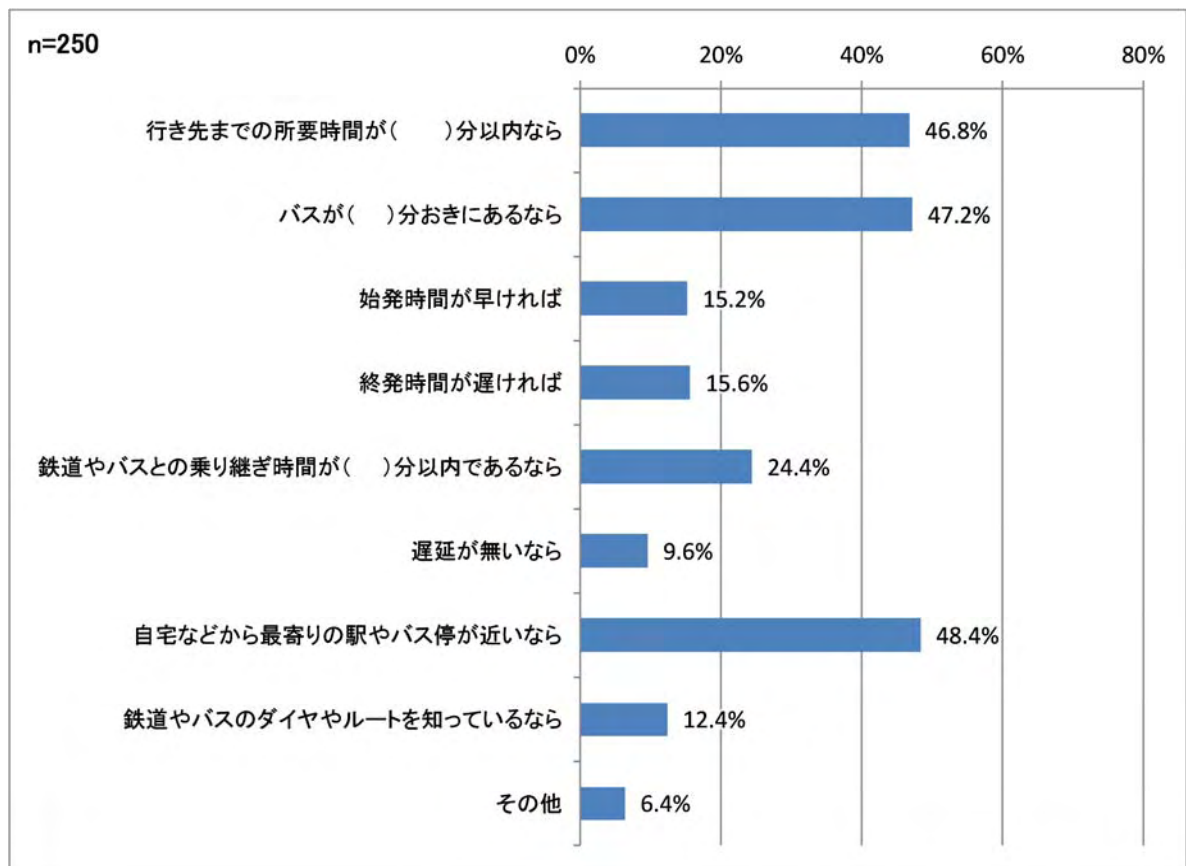
60～64 歳



65～69 歳



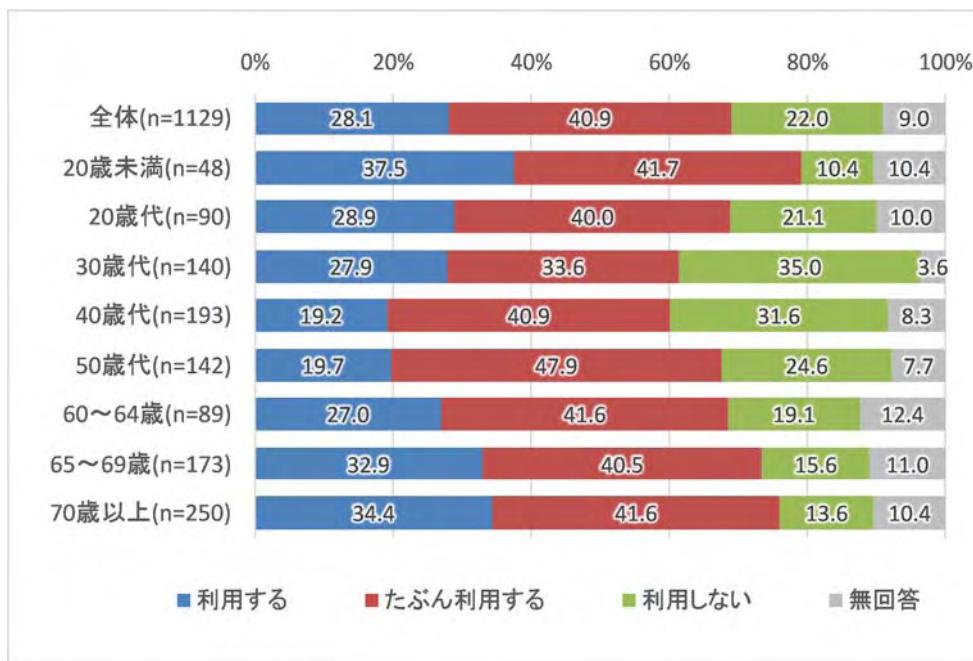
70 歳以上



問 13 改善された場合の利用について（※問 9 で「利用していない」を選んだ方のみ）

■年齢別に見ると、20 歳未満、65～69 歳、70 歳以上において「利用する+たぶん利用する」が 70%を超えています。

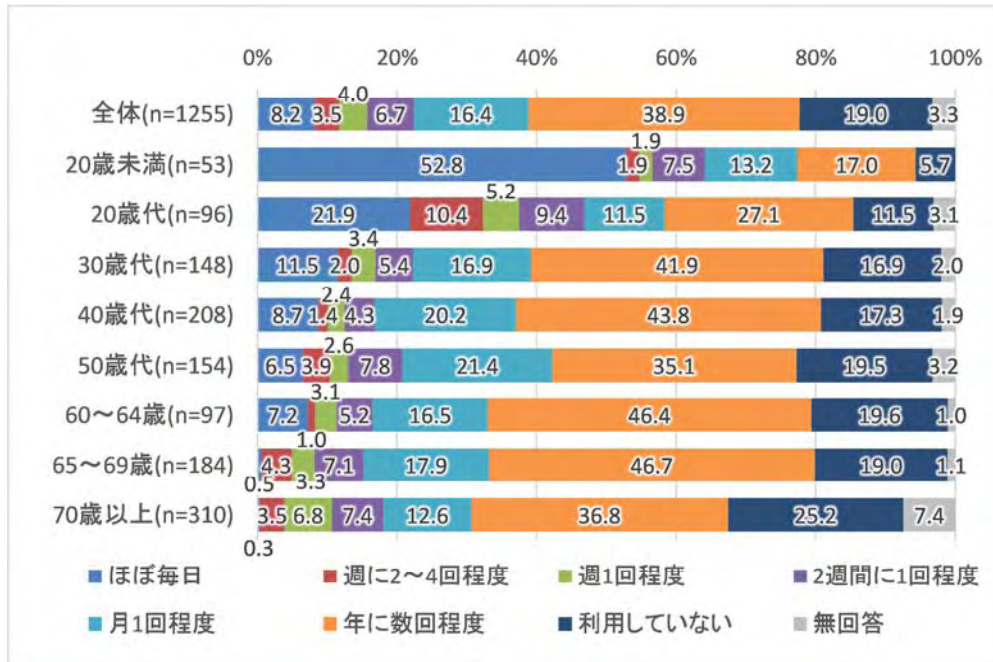
図 改善された場合の利用について



問 14 鉄道の利用頻度について

■年齢別に見ると、20歳未満は「ほぼ毎日」が約53%を占めています。

図 鉄道の利用頻度について

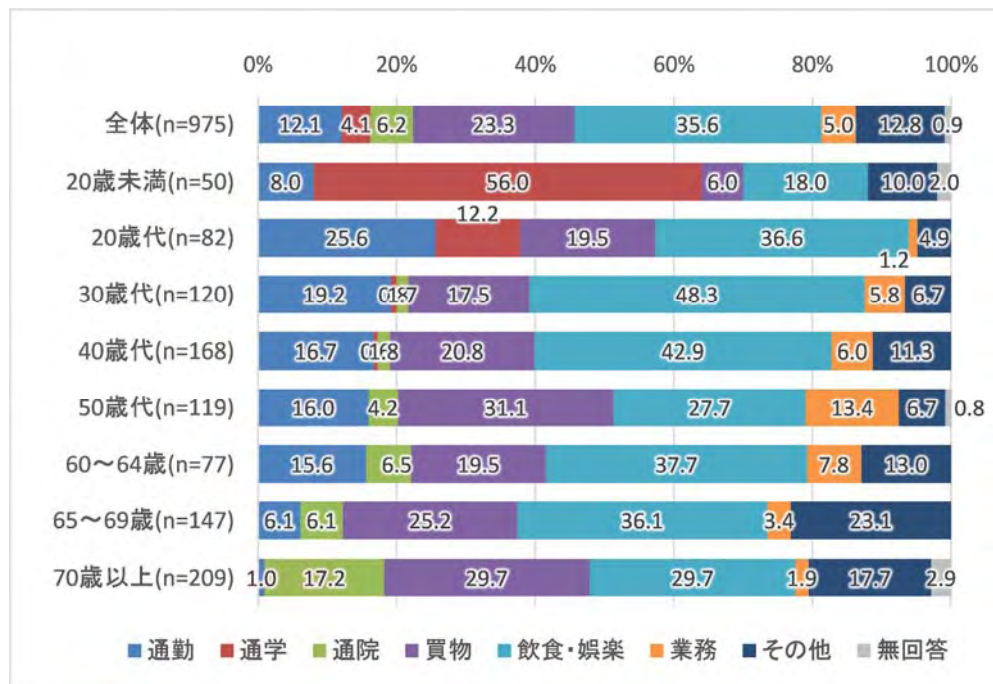


問 15 鉄道の主な利用目的（※問 14 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見ると、20歳未満では「通学」が最も多く、約56%を占めています。

■その他の年齢では、「飲食・娯楽」または「買物」が多くなっています。

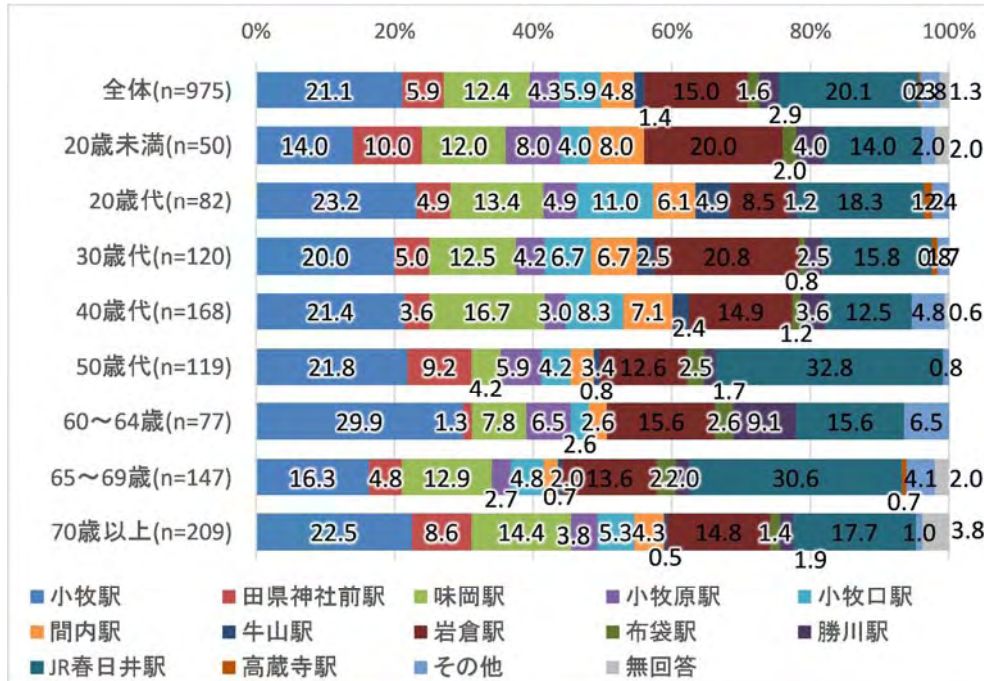
図 鉄道の主な利用目的



問 16 普段利用する鉄道駅（※問 14 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見た場合、60～64 歳では「小牧駅」が約 30%、50 歳代と 65～69 歳では「JR 春日井駅」が約 31～33%を占めています。

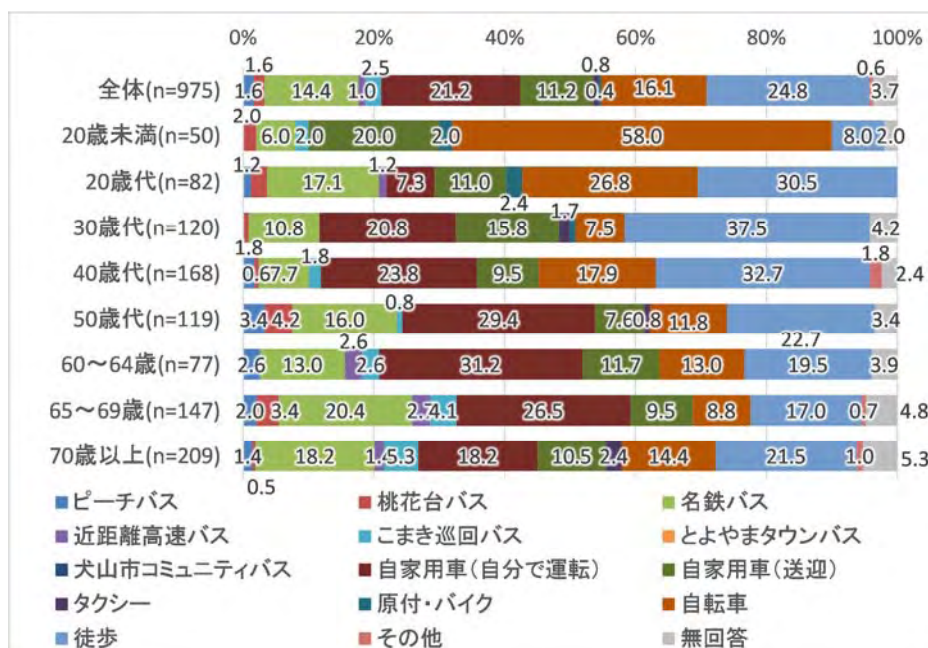
図 普段利用する鉄道駅



問 17 鉄道駅までの自宅からの交通手段（※問 14 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見た場合、20 歳未満では自転車約 58%と最も多く、その他の年齢では「徒歩」を除くと「名鉄バス」と「自家用車（自分で運転）」が多くなっています。

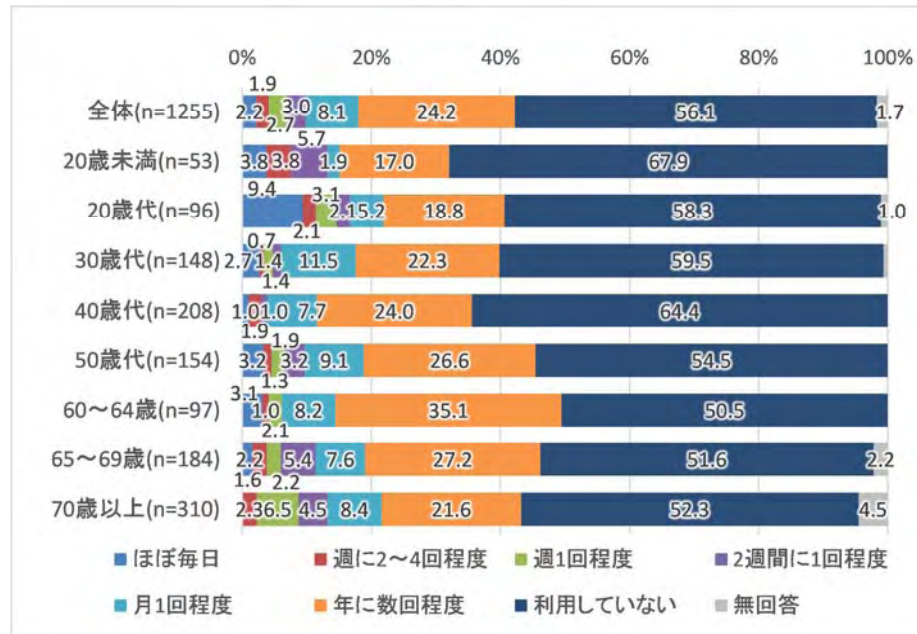
図 鉄道駅までの自宅からの交通手段



問 18 路線バス（ピーチバス、桃花台バス、名鉄バス等）の利用頻度について

■年齢別に見た場合、20 歳未満の利用割合が最も低く、約 32%となっています。

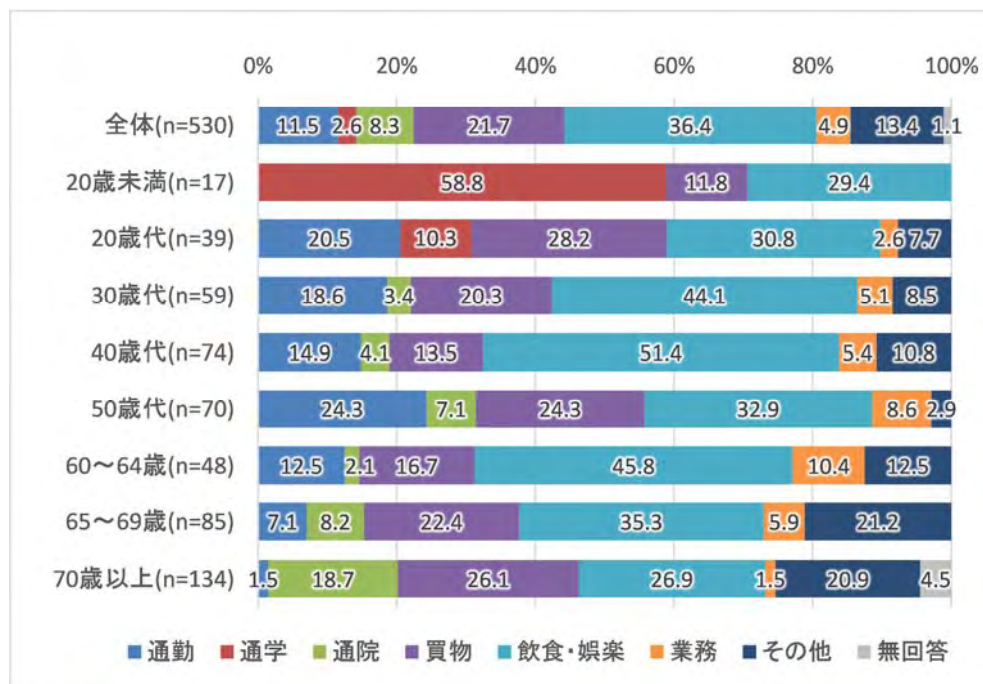
図 路線バスの利用頻度について



問 19 路線バスの主な利用目的（※問 18 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見た場合、20 歳以上では、「飲食・娯楽」目的の利用が最も多くなっています。

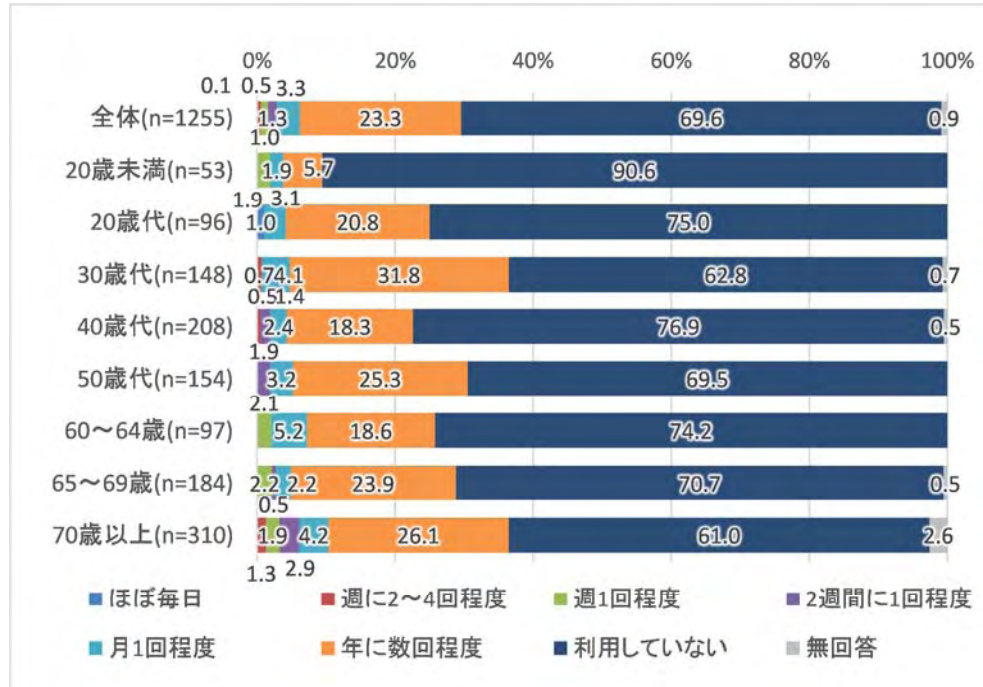
図 路線バスの主な利用目的



問 20 タクシーの利用頻度について

■年齢別に見た場合、利用割合は30歳代の約37%と最も多く、次いで70歳以上の約36%となっています。

図 タクシーの利用頻度について

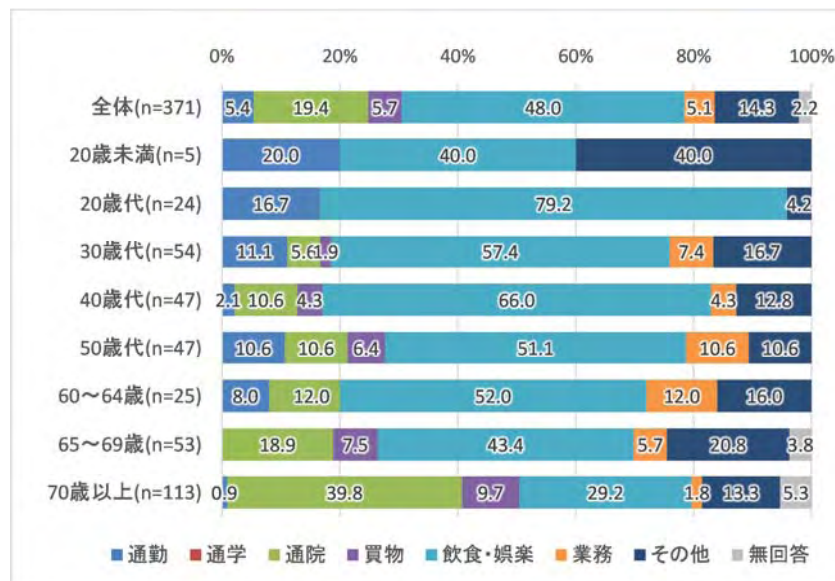


問 21 タクシーの主な利用目的（※問 20 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見た場合、70歳以上では「通院」が約40%と最も多くなっています。

■20～69歳の年代では「飲食・娯楽」が最も多くなっています。

図 タクシーの主な利用目的



問 22 タクシーを利用する理由（※問 20 で「利用していない」以外を選んだ方のみ）

■年齢別に見た場合、20 歳未満～50 歳代までは「鉄道やバスが利用できない時間だから」が最も多くなっています。

図 タクシーを利用する理由

